

協会業績紹介

協会この1年（昭和57年度）

小林博之*

創立以来10年の峠を越え、協会は人生にたとえて、小学校入学というところでしょうか。この2年ぐらいの情勢は、いわゆる過当競争時代という業界のすう勢であります。幸い当協会は、社会的信用によりまして、順当な業績を納めつつあります。主なものといたしましては、博多湾アセス、水俣湾公害防止事業、長崎県津水湾アセス、上五島石油備蓄アセス等であります。

また一面では、協会の特質である学究陣との緊密な連携指導体制が、一段と効果をあげ、大小の新規業務開発を生み出すことができました。

以下にその幾つかを簡単に紹介したいと思います。

☆ 「環境放射能の評価に関する研究」 環境放射能部

科学技術庁からの原子力平和利用に関する委託研究で、天然放射性核種と人工放射性核種との判別をするための挙動特性の研究

☆ 「福岡市清掃局中部中継所周辺環境調査」 技術部分析課

悪臭の官能試験による拡散予測評価法の研究と実地応用。

☆ 「椎田・勝山線環境影響評価」 技術部分析課

矢留池上を横断する椎田バイパス自動車道路の建設計画に対して、自動車排気ガスの池水への影響予測

☆ 「勝山公園水質保全調査」、「大分城址公園の水質浄化対策の調査」
技術部環境技術課

共に堀の水質の浄化対策で、昭和54年度に行った福岡市内にある大濠公園の水質浄化対策研究が基礎となって発展したものの。

*当協会理事 総務部長

- ☆ 「清掃事業全般における総合コンサル」 技術部環境技術課

し尿処理，ごみ焼却，ごみ埋立，最終処分に係る清掃業務全般に対する総合的コンサルの確立。

- ☆ 「4 K式高度水処理装置」 技術部環境技術課

シラスと特殊汙材を用いた簡易廉価な高度水処理装置の本格的実用化が進む。

- ☆ 「関門地区拠点水質調査解析業務」 環境アセス部

運輸省第4港湾建設局からの委託業務で，昭和51年度から56年度までのデータを再集成し，コンピューターにより解析を行い，提言を添え，今後の調査方針の検討資料に供するもの。

- ☆ 「海底沈下復元調査」 環境アセス部

有明海海底陥没により，ノリ漁場等の喪失を復元させる研究で，昭和56年度から順次調査を進め，57年度は，試験区を設け砂質岩盤を投入し，アサリ貝の定着状況と，ノリひびの建込み状況試験を行った。